

今回の競技は秦野市体育館の特設会場(2射場)で行われました。下記の内容は2階の観覧席から見た内容です。

的中確認

的中確認係は的中表示板から4～5m射場側の位置で作業していました。○Xを表示担当に伝えます。微妙なケースはサブの担当が適宜双眼鏡を使うなどして支援していました。選手が引き終わると別の的中数確認係が出てきて、的の左に立ち表示係の方を向き、大前から順に1つの的毎に的中数を指で出すと同時に読み上げます。この所作は大変キビキビして安心感を抱かせるものでした。表示係を相手として伝えていた印象があります。次の的の確認に後方に移動するのに合わせて矢を抜く担当がぞろぞろ付いて出てきます。5番的まで終わったら、第2射場の的中確認者と真ん中で一緒になり、相互が作業完了したのを確認したら射場の方に向きを変え、一緒に確認完了の合図の右手を上げて終了です。矢はその後に抜く。尚、第2射場は5番的から1番的の方向へ順に的中を確認していました。

記録掲示

4立が終わる都度終了した4チームの○×の詳細結果がA4サイズで印刷配布されました。参加各チーム名の入ったレターボックスが用意されていて結果資料はそこに配布されます。これとは別に体育館入り口に全体表示ボードがあり、予選1回目から途中順位を集計した順位表が4立毎に最新版に張り替えて掲示されていました。